

平成4年度農業土木学会および第41回農業土木学会北海道支部研究発表会報告

北海道開発局開発土木研究所
農業土木研究室 谷 茂

平成4年度農業土木学会；

平成4年度農業土木学会大会講演会は北海道大学農学部において、平成4年度8月26～27日に約800名の参加を得て開催されました。本大会では285編の報告があり、その中でジオテキスタイル関連の発表は3編ありました。

- ①防草シートを用いた調整池法面の舗装工法について（天野景敏他）
- ②ジオテキスタイルによる凍上抑制のための野外実験（土屋富士夫）
- ③泥炭地湿原の保全対策工法－遮水壁による地下水位制御（梅田安治他）

①では植物によるシートの破損を防ぐために、調整池法面にポリプロピレンフィルムとアスファルトシートを圧着した防草シートを用いて、良好な防止効果が認められたと報告されています。②では道路におけるジオテキスタイルの凍上抑制効果を、野外実験で検証しています。用いたジオテキスタイルはポリプロピレンを原料にスパンポンド法で接合した不織布、プラスチック性の芯体をポリエステル不織布で被覆したもの、ポリエステル繊維の三重構造の不織布、ポリエステル繊維を樹脂接合したマット構造不織布、およびポリプロピレンを原料とする熱圧着の不織布の5種類です。③では泥炭地湿原のなかに笹が入りこむの防ぐために、遮水シート（P. V. C透明シート）を用いて人工的に地下水位を上昇させ、笹の侵入防止に有効だったと報告しています。

第41回農業土木学会北海道支部研究発表会；

第41回農業土木学会北海道支部研究発表会は平成4年度10月7日北海道大学学術交流会館で開催されました。本大会では、25編の報告がありましたが、その中でジオテキスタイル関連の発表は2編ありました。

- ①小規模水路の凍上対策特殊工法(その1)-緩衝材料の使用とその効果-(坂井盛二他) ②
土中に埋設したシートの浮き上がり防止効果に関する基礎的実験（太田寛彰他）

①では緩衝材として発泡ポリエチレンフォームを用いて試験施工を行い、ポリエチレンフォームが凍上力を吸収して凍上対策としての有効である事を確認しています。②ではパイプラインの浮き上がり防止策として、ジオテキスタイルを用いた場合の効果を室内土槽実験で検討しています。

今回の研究発表会では発表編数は多くありませんでしたが、広い分野でのジオテキスタイルの適用事例の報告がありました。